INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね！

関東のみなさんにとっては丸１年ぶりの全日本。毎年観戦に来られる方はもちろん中には初めて来た方もいらっしゃると思います。モトクロスならではの横一線スタート、全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は迫力を感じてもらえればいいと思うんですが、レディースも白地だし、よく見たらIA1にもIA2にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラーなんです。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

あれれ、IA1には01、IA2には02～010のライダーがいますね。彼らは今年IAクラスに昇格したばかりのルーキーたち。新入生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらいになってるハズ。見かけたら落ち着いて頑張れよって励まして上げてください。

それで気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ～ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人に的を絞って観戦すると、スタートからチェッカーを受けるまでレースの展開が良くわかると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やIA昇格を果たしたルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。

感染対策しながらの観戦 マナーを守って楽しんで！

行動制限も緩和の方向に向かっているとはいえ、新型コロナはまだまだ油断できない状況。今回も咳エチケットはもちろん、ソーシャルディスタンスなど感染対策に留意しながらの観戦をお願いしています。とにかく会場の中からクラスターを発生させない。今の努力が次戦以降に繋がるよう、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今シーズンからは一般観客のパドック入場制限がなくなるとのこと。とはいえ会場内を移動する際は、案内板やスタッフの誘導に十分留意してください。選手紹介でライダーに拍手を送るのはOKですが、声かけより拍手。表彰式の後もライダーへの接近はご遠慮ください。引き続きソーシャルディスタンスに留意しつつ、その上で出店ブースでの食事やお買い物など楽しんでいただければと思います。

大声で応援出来ないなんてつまらないと思ってる方、それは正しい意見です。ライダーだって応援があるから頑張れるんです。応援はしましょう。でもどうやって!?

右のQRコードにアクセスしてみてください。上から国別対抗戦の選手紹介とセレモニーの動画を観ることが出来るハズです。場所はアメリカとイタリア。ヨーロッパやアメリカのファンはとにかく鳴り物が大好き。パパパ～ってなってるのはチアホーン。ガーガーうるさいのはチェーンソーです（笑）。日本だったら太鼓とかメガホンを打ち鳴らしたらライダーに頑張れの気持ちが伝わるし楽しそう。もちろん応援フラッグやタオルを振るのもアリですよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1 の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず～っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。コロナ対策でサイン会などのイベントはまだ難しいのかな？でもその分ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているはずです。

土手側の各社出店や展示ブースも必見です。スタートゲートやサインエリアでは、メカニックさんの仕事ぶりも見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンは LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年は新たに LINE 公式アカウントを用意してみました。料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひご登録ください。

編集後記

屋外ならマスクを外してもいいという意見が議論され始めました。ただしレース観戦中は突然のアクシデントや展開に熱くなってつい大きな声を発しちゃうことがあるので、もう少し我慢でお願いします。コロナもウクライナの戦争も早く終息して欲しい!!

MXING & MC Square 木田 淑

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス新聞
MXING
MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Off Road Village

開幕戦の舞台となったHSR九州、チャンピオン不在のレースは富田俊樹とJ.ウィルソンがその実力を見せつけた一方で、若手の台頭も目立つ結果となった。 *Photo/K.Kida*

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2022 第2戦関東大会が5月14～15日に埼玉県川越、上尾の両市に跨るウエストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。今大会では国内最高峰IA1クラスに関東大会初となるトリプルヒート制を採用。15分+1周×3というスーパースプリントのバトルがどんな結果をもたらすのか大きな注目が集まる。レディースクラス以外チャンピオン不在のシーズン。新たなエースの座へ、勝利を手にするのは果たしてどのライダーだ!?

マナーを守って楽しく観戦しよう!
1.入場時には検温と体調チェックに協力を
2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

最高のシーズンスタートを決めた富田にライバルたちが挑む!

王者**山本 鯨**が引退したことで、エース不在となったIA1クラス。注目の開幕戦では昨シーズン山本と最後までタイトルを争った**富田俊樹**（#2／ヤマハ）と山本の6勝に次ぐシーズン4勝をマークしランキング3位となった**能塚智寛**（#3／カワサキ）が激しいバトルを繰り広げ、逆転パーフェクト優勝を飾った富田が新たなリーダーとして存在を大きくアピールした。

トリプルヒート制で行われる今大会。全日本会場の中でスタートの良し悪しが最も重要視されるコースだけに、勝利のチャンスは誰にでもある。富田がライバルをねじ伏せるのか、それともライバルたちが巻き返すのか、一瞬も目を離すことの出来ない熾烈なバトルが繰り広げられる事になる。

開幕戦を終えてランキング2番手に付けるのは、富田のチームメイト**渡辺祐介**（#4）。その後方にはベテラン**小方 誠**（#5／ホンダ）と能塚が続く。開幕戦第1ヒートの転倒で遅れを取った能塚にとっては、巻き返しの絶好のチャンス。もちろんそれはどのライダーにも同じで、誰もが打倒富田を目標に挑んでくるハズだ。

このコースを得意とする地元の**星野優位**（#8／ヤマハ）や**大塚豪太**（#7／ホンダ）にも注目。開幕戦で激しいクラッシュに見舞われた**内田篤基**（#25／カワサキ）は怪我からの回復具合が気になるところだが、同じくIA2クラスからステップアップした**大城魁之輔**（#22／ホンダ）、**大倉由揮**（#23／ホンダ）は間違いなくトップ争いに絡んできそう。国内最高クラスならではの激しいバトルを心ゆくまで堪能して欲しい。

IA2は世界レベルの走りに若手がどこまで迫れるか

出場選手平均年齢が21歳台前半と若手中心で争われるIA2クラス。開幕戦では今季全日本にフル参戦する**ジェイ・ウィルソン**（#16／ヤマハ）が日本人ライダーの挑戦をあっさりと退けた。オーストラリア選手権などのチャンピオン経験を持つ彼の走りは正に世界レベル。打倒ジェイを目標に日本の若手や250のスペシャリストたちが、どこまでレベルアップできるかも見どころになりそう。

開幕戦で総合2位に食い込んだベテラン**小川孝平**（#17／ヤマハ）、総合3位と健闘した**中島漱也**（#5／ヤマハ）はその後の怪我の具合が気になるが、17歳の**柳瀬大河**（#10／ホンダ）や16歳のルーキー**田中淳也**（#05／ヤマハ）など将来が期待されるライダーは多数存在する。

大城、大倉、内田の上位3名が抜けた中で、誰がウィルソンに食らいつき、追い越すことができるか。伸び盛りの若手の躍進に期待したい。

ニューヒロイン小野の台頭 川井の巻き返しはなるか!?

2年連続チャンピオンとして圧倒的な強さを誇り、唯一のエースゼッケンを掲げる**川井麻央**（#1／ホンダ）。今シーズンも快進撃が続くと思われたが、迎えた開幕戦ではチームメイトの**小野彩葉**（#4／ホンダ）がスタートから先行。鋭い追い上げで小野を捉えた川井だったが、直後に転倒を喫して大きくポジションを落としてしまう。念願の初優勝を飾った小野の後塵を排した川井が地元でどう巻き返すか。そこが今回の最大のポイントとなる。

小野に続き2位でチェッカーを受けた**久保まな**（#3／ホンダ）、開幕戦で表彰台な上がった**楠本菜月**（#5／ハスクバーナ）にも加え、2年連続ランキング2位に甘んじた**本田七海**（#2／ヤマハ）もタイトル奪還に執念を燃やす。更に'18年のチャンピオン**畑尾樹璃**（#27／ホンダ）が2年ぶりに復帰。3人のチャンピオン経験者を交えた熱いバトルと**赤松樹愛**（#8／ヤマハ）や**濱村いぶき**（#9／ホンダ）ら次世代ライダーたちの躍進にも期待したい。

IB Open クラスや未来のスターライダーの宝庫、ジュニアやチャイルドクラスにもぜひ注目して欲しい。誰か一人のライダーに注目するとスタートの出遅れや転倒、そこからの追い上げなどドラマに気付いてレースが何倍も面白くなる。公式プログラムでゼッケンやマシンの色、出身地などをチェックし、地元ライダーやルーキー選手には特に温かい応援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2022スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月9～10日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月14～15日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	7月16～17日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	近畿大会	9月10～11日	奈良県／名阪スポーツランド
第5戦	HSR九州大会	10月 8～9日	熊本県／HSR九州
第6戦	関東大会	10月29～30日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第7戦	MFJ-GP	11月12～13日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第2戦 関東大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。